

第3回 魚津市教育振興基本計画策定委員会 会議録（要旨）

1. 日 時 平成27年9月25日（金） 午後7時から午後8時45分
2. 場 所 魚津市役所第一分庁舎2階会議室
3. 出席者 委 員 10名
事務局 9名

4. 議事等 (1) 基本目標について 資料10 参考資料6
(2) 基本理念について 資料11 資料12
(3) 素案の策定について
※議事に入る前に協議の進め方について参考資料5を用いて説明した。

5. 議 事

事務局

開会

教育長

開会挨拶

— 畠山教育長あいさつ —（略）

事務局

会長に議事進行をお願いする。

会 長

前回に引き続き、議事の進行を務めさせていただく。

第2回策定委員会では、事務局より委員の皆様が考える望ましい魚津市の教育の在り方について自由に意見を述べていただくことで、意見の中からキーワードを拾いだし、本計画の柱となる基本理念の方向性を導くこととした。

本日は、事務局より本計画の基本理念について幾つか案が提示されることとなっている。その提案をもとに協議し、委員の皆さんで最終的な基本理念を決めていただきたいと考えている。また、本日は本計画の素案も策定委員会として決定したいと考えているので委員の皆様方の積極的なご意見をお願いする。

それでは、次第の3「第2回策定委員会会議録」について事務局から説明をお願いする。

事務局

— 会議録の公開について説明 —（略）

※第3回策定委員会は10月に開催する予定であったが、10月1日に開催する総合教育会議に本計画の素案を提示することとしたため、1か月前倒しで開催することとなったことも併せて説明した。

- 会 長 ただいまの事務局の説明で何か質問や意見はありませんか。
質問なし
- 会 長 質問がないようなので次第の4、「第3回魚津市教育振興基本計画策定委員会の進め方について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 — 第2回魚津市教育振興基本計画策定委員会の進め方について説明 — (略) 参考資料⑤
※参考資料⑤を用いて、前回策定委員会から変更した箇所について説明。
- 会 長 ただいまの事務局の説明で何か質問や意見はありませんか。
質問なし
- 会 長 — 議事(1)基本目標について —
それでは、議事に移る。
議事(1)基本目標について協議したい。事務局より説明をお願いします。
- 事務局 — 基本目標について説明 — (略) 資料10 参考資料6
- 会 長 前回提示された基本目標(案)について変更点があった。委員の皆さんの意見を伺いたい。
- A委員 基本目標Ⅱの説明文中に「親を敬う」と入っているのが良い。
- B委員 基本目標Ⅰの説明文中に「国際感覚をもって諸外国の人々と・・・」とあるが、相手は諸外国の人とは限らないのでは。国内でも国際感覚をもつて人と接することが大事であると考えます。
- 会 長 「諸外国の人々」ではなく「様々な人々」とした方が良いということか。
B委員 そのとおり。
- 会 長 他に意見があればお願いします。
- B委員 基本目標Ⅱ説明文中に「文化の面から計画に掲げる・・・」とあるが、どの計画を指しているか分かりにくい。
- 事務局 策定している振興計画の第5章以降を指している。
- 会 長 「文化の面から本計画に掲げる・・・」に改めればよい。
- 会 長 他に意見は無いようなので、委員より出された2箇所について修正されたものを本計画の基本目標とし、策定委員会として決定することとする。

- 会 長 — 議事（２）基本目標について —
次に議事（２）基本理念について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 — 基本目標について説明 —（略） 資料 11 資料 12
※本計画の基本理念として事務局から４つの案を提案した。資料 12
※これ以降、「〇番」との発言は、資料 12に記載した事務局提案の基本理念を示す。
※資料 11のカッコ書きの部分は、基本理念についての説明文について記載するもの。本日の協議内容を踏まえて事務局が作成し、会長の確認を経て素案とすることを説明した。
- 会 長 ただいま、事務局より本計画の基本理念について４つの案が提示された。これをもとに協議を行いたい。委員の皆様の見解を伺いたい。
- C委員 ③番の印象だが、副題に「世界に飛躍する・・・」とある。イメージとして、魚津から世界に「送り出す」という感じがする。ふるさとを大切にしながら、魚津を盛り上げるような教育をしてもらいたいと考えていた。別の言葉に置き替えられないものかと思った。
- 会 長 他に意見はありませんか。
- A委員 ④番の案にふるさとの歴史を大切にすることも入れてもらいたい。事務局（案）では、代々受け継がれてきたものを大切にすることが欠けていると思われる。
- D委員 私は４つのうち③番が良いと思う。先ほど「世界に飛躍する」は送り出すといったイメージがあるとの意見があったが、逆に、世界に飛躍する人をつくっていきたいと考える。
- 事務局 先ほど、A委員から、歴史を大切にすることを盛り込むとの意見があった。事務局でも委員のおっしゃる通り、歴史から学ぶことは大切だと考えおり、そのことについては基本目標Ⅱ及び基本目標Ⅳの説明文で触れているので理解してもらいたい。
- 会 長 基本理念の中に「歴史」を盛り込むとその部分に集中してしまう恐れがある。例えば、④番に盛り込むとすれば、「ふるさとの歴史を大切にして・・・」となると思われるが、それでは歴史だけが強調され、自然など、ふるさとに含まれる他の部分が霞んでしまう。
- 会 長 他に意見はありませんか。４つの案が提示されているが、そのうち「ベ

- ースとして考えても良い。」との意見でもあればお願いしたい。
- E委員 ③番が良いと考えた。これからの魚津を創っていくためには、人と人とのつながりが大切であり、また、基盤でもあると考える。そのためには、ふるさとを学び、ふるさとから学ぶことも必要である。(③番は)上手に表現されていると思う
- F委員 ①番にある「ふるさと」と「人」は大事なキーワードだと考える。また、「ふるさと」と「人」を愛することで、思いやりが生まれてくると考えることから、「愛する」という気持ちを理念に盛り込みたい。そこで、①番と③番を組み合わせた「ふるさと・人を愛し、思いやり、ともに学び合い、新しい時代を築く人づくり」としては如何かと思う。
- 会 長 「ふるさと・人」を繋ぐ表現として「・」とすると、「愛する」がどこに係るかぼやけてしまう恐れがある。
- B委員 「人」と「ふるさと」を逆にしたらどうか。全体を見て、その後、そこに住む人に向けた方が自然である。
- 会 長 「人」も「ふるさと」も大事だが、並列にすると違和感がある。
- G委員 魚津市の総合計画には「ふるさとを活かして」や「うるおいのまち」といったように「ふるさと」を全面的に表現していることから、(本計画の基本理念も)枕詞として「ふるさとを愛し」とするのは良いと思う。しかし、「思いやり」といった具体的な表現は副題にした方が良い。例えば、「ふるさとを愛し、創造性豊かに未来を拓く人づくり」としたらどうか。
- ③番も良いと思う。しかし、「ともに学び合い」といった表現だと生涯学習に限定されかねない。本計画は生涯学習やスポーツ、学校教育まで幅広い分野の計画となっている。基本理念は包括的なものとした方が良い。
- 会 長 皆さんの意見から③番をベースに基本理念を考えてみたらどうかと考える。
- H委員 ③番は広がりのある文言で構成されており、未来に羽ばたいていく印象があるので良い。
- 会 長 ③番をベースに言葉を組み合わせて作ると良いのではないか。
- 基本理念の後半は「新しい時代を拓く」や「新しい時代を築く」といった、未来志向の表現とする形とし、前段部分を考えていきたいとがよろしいか。
- ③番の前段は「人を思いやり、ともに学び合い」となっている。G委員の意見では、この表現を副題にした方が良いというものであった。
- G委員 ③番は副題に「世界に飛躍する」といった大きな視点であるのに対し、本題で「ともに学び合い」といった具体的な表現になっているところが気

- になる。
- 会 長 「人を思いやり、ともに学び合う」が、副題の「ふるさと魚津から」に対応し、「新しい時代を築く人づくり」が「世界に飛躍する人材の育成」に繋がっていると思われる。
- 会 長 ③番の前段をどう表現するか考えていきたい。
- I 委員 ふるさとを大切にするということは、人間形成のうえでとても重要であると考えます。ふるさとを離れて、国際レベルで自分の考えを述べるとか、対等に話し合いができるといった人材を育てるには、ふるさとにしっかり根ざした教育が必要だと考える。そのような教育を続けていくことが、やがては（自分自身の）基本的な考え方を常に柱に据えた人材を育成することに繋がる。こうした表現を（基本理念に）入れてもらいたい。
- 会 長 「ふるさとを大切に」と表現した場合、その後どのように繋げればよいか。
- I 委員 ②番に「ふるさとの素材を生かして」とあるが、どのような意味があるのか。
- 事務局 魚津市は自然が豊かであり、また、自然から学べるものがたくさんあると考えた。魚津の自然を教材と捉え、「ふるさとの素材」と表現した。
- 会 長 他に意見はありませんか。
- F 委員 新しい時代を「拓く」にしろ、「築く」にしろ、「生き抜く力」が無いと前に進むことは出来ないのではないかと。文部科学省も「生き抜く力」の教育を推し進めている。
- 会 長 「生き抜く」と表現すると、消極的な感じというか、守りのイメージがあると思う。
- B 委員 (③番をベースに)「ふるさとを愛し、人を思いやる、新しい時代を拓く人づくり」はどうか。
- 会 長 「人を思いやる」、「人を大切にすること」といった要素を基本理念のどこかに含ませたいと考える。
- 事務局 生き抜く力は基本目標Ⅰに含まれており、ふるさとを大切にすることは基本目標Ⅱに入れてある。基本目標には具体的な言葉を入れ、基本理念はそれらがイメージできるようなものとしたいと考えている。
- 先ほどH委員より「③番はだんだん広がっていくイメージがあり、言葉の並びが良い。」との意見をいただいた。こういったものを加味して、これからご意見をいただきたい。
- A 委員 「時代を切り拓く」とすると、力強さを感じられるのではないかと。「生き抜く力」にもつながると思う。

- 会 長 (これまでの協議から) ③番をベースにして意見をいただいている。前段では「ふるさとを愛し～」と「人を思いやり～」の二つの意見に分かれている。
- 事務局 皆さんの全ての意見を拾い上げ、本計画の基本理念に盛り込むことは難しいと考えている。本日いただいた意見のうち、いくつかは基本理念を説明する文章に盛り込みたい。基本理念は言い易さや語呂の響きの良さも含めて決めたいと考える。
- 会 長 基本理念は短く表現し、皆さんの意見は説明文で表現したいとの説明であった。
- B委員 基本理念は1つのセンテンス(文章)とするのか。
- 事務局 そう考えている。
- 会 長 なくても良いと思うが、可能であればサブを付けても良いのでは。
- I委員 パターンは③番と④番のような形となるのか。
- 会 長 これまでの意見から、そうなると考えている。G委員より「創造性豊かな」といった言葉の提案もあったが、他に具体的な表現の提案はありませんか。
- B委員 「人を思いやり、ふるさとを愛し、新しい時代を切り拓く人づくり」はどうか。
- 会 長 広がりを感じられるが、少し納まりが悪くなった。
これまでの協議から、「人を思いやる」や「ふるさとを大切にする」といった言葉を基本理念で表したいとの意見が多かったと思う。
- 事務局 「ふるさとを大切にする」や「ふるさとを愛する」ことについては、③番の副題にある「ふるさと魚津」との表現に置き替えたものである。
- D委員 「ふるさと魚津」との表現は、魚津を愛しているという意味も含んでいると感じる。また、③番を少し変え、「人を思いやり、ともに学び合い、新しい時代を切り拓く人づくり」で良いのではと思う。
- 会 長 これまでの協議から「人を思いやる」、「学び合う」、「時代を切り拓く」、「愛すべきふるさと」といった要素を基本理念に盛り込みたいとの意見が多かった。これは事務局が提案する③番にほぼ含まれていると思う。そこで、これからは③番をベースに協議したいと考える。
細かな文言について意見を聞きたい。③番の後段についてだが、「築く」を「切り拓く」変えて「新しい時代を切り拓く人づくり」としてはどうか。
- 異議なし
- それでは、本計画の基本理念の本題を「人を思いやり、ともに学び合い、

新しい時代を切り拓く人づくり」としたい。

事務局より副題として「～ふるさと魚津から世界に飛躍する人材の育成～」と提案されている。

F委員 世界に飛躍するとあるが、世界と表現すると大きすぎる感じがする。「世界」を「国際社会」に替えてみては。そうすると国内外でも活躍するといったニュアンスが含まれて良いと思う。また、「飛躍」よりも「活躍する」の方が良い。

E委員 「ふるさと魚津」だけではなく、それ以外の日本も含めて「世界」という意味で捉えたらどうか。

会 長 先ほどI委員から、(基本理念は)ふるさとへの思いを取り入れたものにしたいたいの意見をいただいた。他にご意見はありませんか。副題にある「ふるさと魚津から」は良い表現だと思うが。

A委員 「飛躍する」を「発進する」にしてみてもどうか。

会 長 「発進する」の後に続く言葉が難しくなる。

H委員 「飛躍」というと、どこかに飛んで行ってしまう感じがする。「活躍」にすると「魚津からでもいろんな社会で活躍できる」とイメージできる。

会 長 世界へ活躍するというイメージということか。

B委員 (ふるさとを忘れないというイメージで)「ふるさと魚津を礎に」はどうか。

会 長 言葉としては少し難しい感じがする。

「飛躍する」と「羽ばたく」のどちらが良いか。H委員が述べた「ふるさと魚津から世界で活躍する」というのもおかしくはない。

H委員 外国で活躍するイメージは避けたい。魚津からみんな出ていってしまう感じがする。

会 長 これまでの意見から3つに絞りたい。

- ・世界に飛躍する
- ・世界に羽ばたく
- ・世界で活躍する

このほかになければ、3つのうちで決めたいと考える。委員の皆さんはどれが良いか選んでもらいたい。

世界に飛躍するが多数

会 長 「飛躍する」が多数意見であった。これに決めることとする。

それでは、事務局提案の③番をベースに、本計画の基本理念を「人を思いやり、ともに学び合い、新しい時代を切り拓く人づくり ～ふるさと魚津から世界に飛躍する人材の育成～」に決することとしたい。

会 長 次議事に移る。議事の(3)素案の決定について事務局より説明をお願いします。

事務局 一 素案について説明 一 (略)
※第1章、第2章、第6章の構成と内容について説明。

会 長 ただいま、事務局より素案の策定について説明がありました。
本日を含め、これまで3回策定委員会を開催し、魚津市の教育の現状と課題、計画の基本理念・基本目標、そして、施策の展開について協議してきました。本日、事前に事務局が委員の皆さんに配布された「魚津市教育振興基本計画(素案)」には、新たに第1章「教育振興基本計画の策定にあたって」、第2章「魚津市の教育を取り巻く状況」、第6章「施策の展開のために」が記載されています。これに、本日策定委員会として決定した基本理念を当てはめることで、策定委員会による本計画の素案としたいと考えています。
委員の皆様には全体を通して何かご意見やご質問があればお願いしたい。

F委員 いろんな教育目標があるなか、これからの時代はインターネット教育の必要性が求められている。計画の中にインターネットの使い方など、情報モラルについて触れたらどうか。

事務局 計画(素案)52頁にある施策3で触れている。

F委員 生活習慣ではなく、ICT教育の一環として取組んでもらいたい。

会 長 計画(素案)44頁にある施策の展開5番で、情報モラルについて触れる方法もある。

事務局 事務局で協議し、会長の確認を経て決めることとしてよろしいか。
F委員 お願いします。

会 長 他に意見は合いませんか。

特に意見なし

会 長 意見も出つくしたと思う。皆さんから出た意見は事務局と協議し、私の確認を経て決定することとしたい。

それでは、次第の6、本日最後の協議事項である、その他（パブリックコメントの実施について）事務局より説明をお願いします。

事務局 — パブリックコメントの実施について説明 —（略）

※11/2～11/30にかけてパブリックコメントを実施することを説明。

※次回策定委員会は来年2月を予定していることを説明。

会 長 本日は第3目の策定委員会であり、魚津市教育振興基本計画の素案を策定することができ。委員の闊達なご意見とスムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございます。次回は、11月に行われる本計画（素案）についてのパブリックコメントを踏まえ、策定委員会として本計画を最終的に決定し、魚津市教育委員会に報告することとします。

それでは、これで第3回「魚津市教育振興基本計画策定委員会」を閉会したいと思います。

皆様方、議事の進行にご協力いただきありがとうございました。

— 閉会 —